

平成 19 年度第 2 回日本スポーツ少年団委員総会議事録

日 時 平成 20 年 3 月 13 日 (木) 13 時 30 分 ~ 14 時 00 分

場 所 岸記念体育会館 講堂

出席者 長沼本部長、佐藤、宇津木の各副本部長
< 常任委員 > 野田、平井、田口、大山
< 委 員 > 霜觸 (北海道)、佐藤 (青森)、谷藤 (岩手)、岩淵 (宮城)、
一関 (秋田)、梁瀬 (山形)、佐藤 (福島)、高山 (茨城)、
青木 (栃木)、内田 (群馬)、藤沼 (埼玉)、水上 (山梨)、
中屋 (新潟)、吉田 (富山)、山口 (福井)、山本 (静岡)、
神野 (愛知)、吉田 (岐阜)、三田 (滋賀)、岡 (京都)
佐藤 (兵庫)、平山 (奈良)、神前 (和歌山)、川口 (鳥取)、
織奥 (島根)、猪木 (岡山)、吉長 (広島)、藤澤 (香川)、
組橋 (徳島)、穠岡 (愛媛)、高橋 (高知)、田中 (福岡)、
中島 (佐賀)、野田 (長崎)、宮崎 (熊本)、中村 (宮崎)、
西原 (沖縄)
< 委 任 > 住谷副本部長
菅原、村田、大橋、山崎の各常任委員
青木 (千葉)、碓井 (神奈川)、山本 (石川)、松井 (三重)、
林田 (大阪)、佐竹 (山口)、玉川 (鹿児島) の各委員
< 代理出席 > 加藤 (東京)、宮崎 (大分) の各県副本部長
< 欠 席 > 大西 (長野) 委員
< 事 務 局 > 岡崎専務理事、小寺部長、鷲山課長、池田課長補佐
他青少年スポーツ部員

事務局より、設置規程第 15 条に基づく会議成立の報告を行い開会。

冒頭、前回欠席だった宇津木副本部長より就任の挨拶があった。

その後、長沼本部長の挨拶があり、同本部長を議長とし議事に入った。

< 議 案 >

1. 平成 20 年度日本スポーツ少年団事業計画・予算 (案) について

事務局より資料に基づき、平成 20 年度の事業計画案については、昨年 6 月開催の第 1 回委員総会で承認を得、予算編成については本部長に一任されていた。その後、ブロック会議で意見を伺ったが、最終的には日本体育協会の補助金・助成金の確定後に実行予算を編成し、了承を得ることで、基本的に了承を願っていた旨説明。協議の

結果、原案通りこれを承認。

なお、予算（案）については、各種補助金・助成金の決定が4月以降になることから、その確定後に実行予算の編成に取りかかるため、実行予算編成については本部長に一任願い、6月開催の第1回委員総会にて報告する旨を諮り、併せこれを承認。

< 報告事項 >

1. 平成22年度全国スポーツ少年大会および競技別交流大会の開催地について

事務局より、平成22年度に中国ブロックが担当する全国スポーツ少年大会および中地区の北信越・東海・近畿ブロックが担当する競技別交流大会の開催地について、昨日開催の第4回常任委員会で下記の通り承認されたことを報告。これを了承。

また、全国剣道交流大会については、現在未定であるため引き続き近畿ブロックにて調整いただき、決定次第改めて報告することとなった。

なお、最終的な決定は、各開催県スポーツ少年団および県体育協会等関係正式機関の最終承認を得た時点になることを確認。

- ・ 第48回全国スポーツ少年大会 : 島根県
- ・ 第33回全国スポーツ少年団剣道交流大会 : 未定（近畿ブロック）
- ・ 第8回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 : 三重県

2. その他

(1) スポーツ少年団将来像検討プロジェクトについて

事務局より資料に基づき、これまで3回開催されたプロジェクトの協議内容について以下のとおり報告。

・ 第1回

昨年9月4日に開催。事務局よりスポーツ少年団の現状と課題、育成計画の推進状況について説明。秋田県と京都府における少年団活動のあり方等に関する取り組みについて紹介。

・ 第2回

昨年11月26日に開催。各委員より中・長期的展望に立った問題点を提議いただき、今後の検討項目、方向性について協議。

・ 第3回

1月25日に開催。第2回の協議内容から、スポーツ少年団の理念と現状の乖離が見られることから、単一種目型単位団の多い現状から発生している様々な問題点や、総合型地域スポーツクラブとの関わり、地域において存在感のある組織として存続していくための方策や地域社会との関わり方、組織としての役割等について協議。引き続きこれらの問題について、確認と検討を重ねていくこととした。

以上、これを了承。

(2) 平成 20 年度の常任委員会・委員総会の開催日程について

資料の通り会議開催日程を報告。これを了承。

(3) その他

- ・ 藤澤委員（香川県）より、日独同時交流の参加年齢について、高校 1 年生（15 歳）から参加できるようになれば参加人数の増加が期待できることから、年齢引き下げについて要望があった。
これに対して、長沼本部長より、年齢引き下げについては全国的に出ている要望であり、今後常任委員会で検討していく旨回答。
- ・ 山本委員（静岡県）より、全日本少年サッカー大会の参加条件に関して、日本サッカー協会の田嶋専務とどのような話し合いを持ったのか質問があった。
これに対して、長沼本部長より、簡単な問題ではないが主旨は理解してくれているので、サッカー協会とスポーツ少年団登録の並列併記について今後重ねてサッカー協会に要望していきたい旨回答。

以上、協議し 14 時閉会。